

都市計画法（昭和43年法律第100号）第21条第2項の規定において準用する同法第19条第1項の規定により、都市計画を変更したので、同法第21条第2項の規定において準用する同法第20条第1項の規定により、次のとおり告示し、同条第2項の規定により、当該都市計画の図書を公衆の縦覧に供する。

令和 7年 7月 3日

千歳市長 横田 隆



記

- 1 都市計画の種類  
千歳恵庭圏都市計画道路の変更
- 2 都市計画を定める土地の区域  
位置 美々地区の一部  
(縦覧に供する都市計画の図書のとおり)
- 3 縦覧場所  
千歳市企画部まちづくり推進課

## 千歳恵庭圏都市計画道路の変更(千歳市決定)

1. 都市計画道路中3・4・45号美々南通を次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備考
	番 号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅 員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・45	美々南通	千歳市美々	千歳市美々	千歳市美々	約 960m	地表式	2車線	20m	幹線街路と平面交差2箇所、JR千歳線と立体交差	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

## 理 由 書

### 1 案件名

千歳恵庭圏都市計画道路の変更（千歳市決定）

3・4・45号 美々南通

### 2 決定経緯

別添計画決定経緯表のとおり

### 3 都市計画変更の内容

一部幅員の縮小変更（21m→15.3m、変更区間 L=約96m）

一部区域の変更

### 4 都市計画変更の理由

都市計画道路 3・4・45号美々南通の事業実施に伴い、美々地区における大規模な次世代半導体工場の立地を踏まえた交通の効率化と円滑性を確保するため、幅員構成の見直し及び立体交差部の幅員を縮小変更するとともに、詳細設計により橋梁下部構造、落下防止柵及び法面の区域が明確になったことから一部区域を変更する。

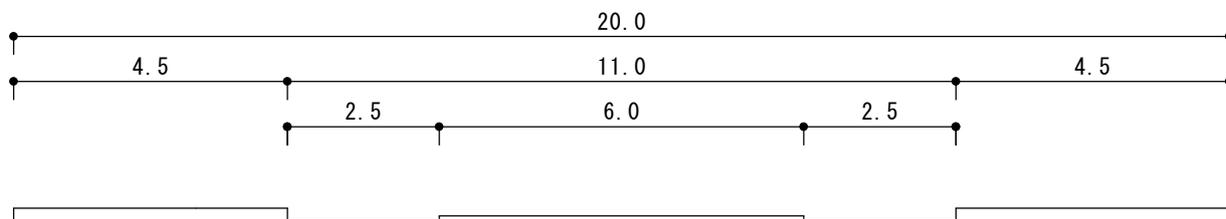
## 変更説明書（千歳市決定）

新		旧		変 更 内 容
番 号	路 線 名	番 号	路 線 名	
3・4・45	美々南通	3・4・45	美々南通	一部幅員の縮小変更 (21m→15.3m、変更区間 L=約 96m) 一部区域の変更

# 定規図 (千歳市決定)

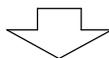
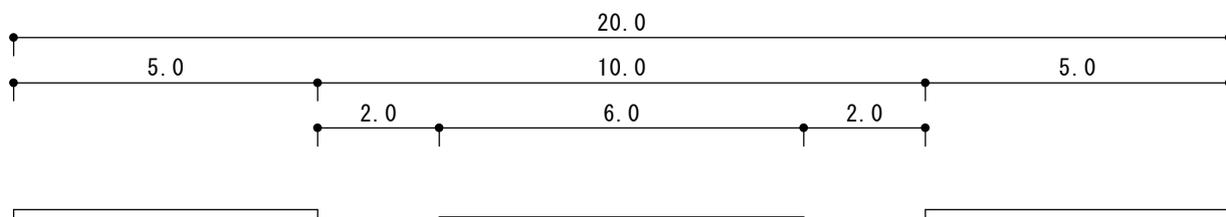
3・4・45 美々南通

代表幅員

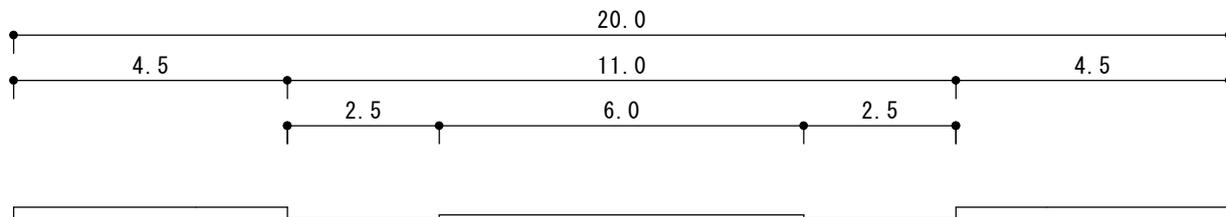


代表幅員 (変更区間 (立体交差部を除く全区間))

(旧)

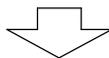
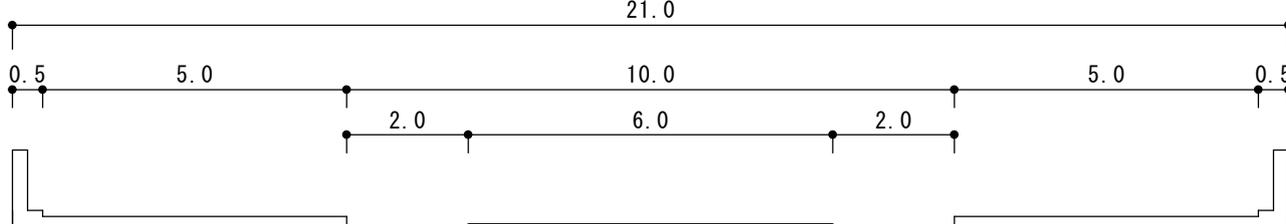


(新)

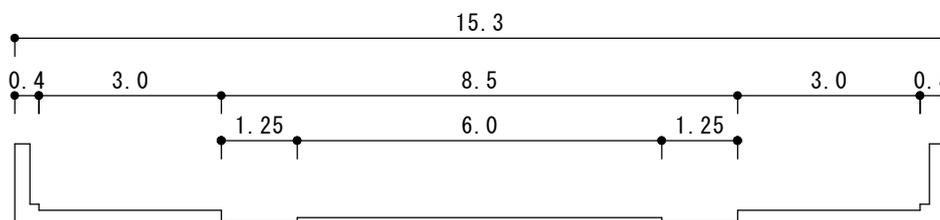


立体交差部

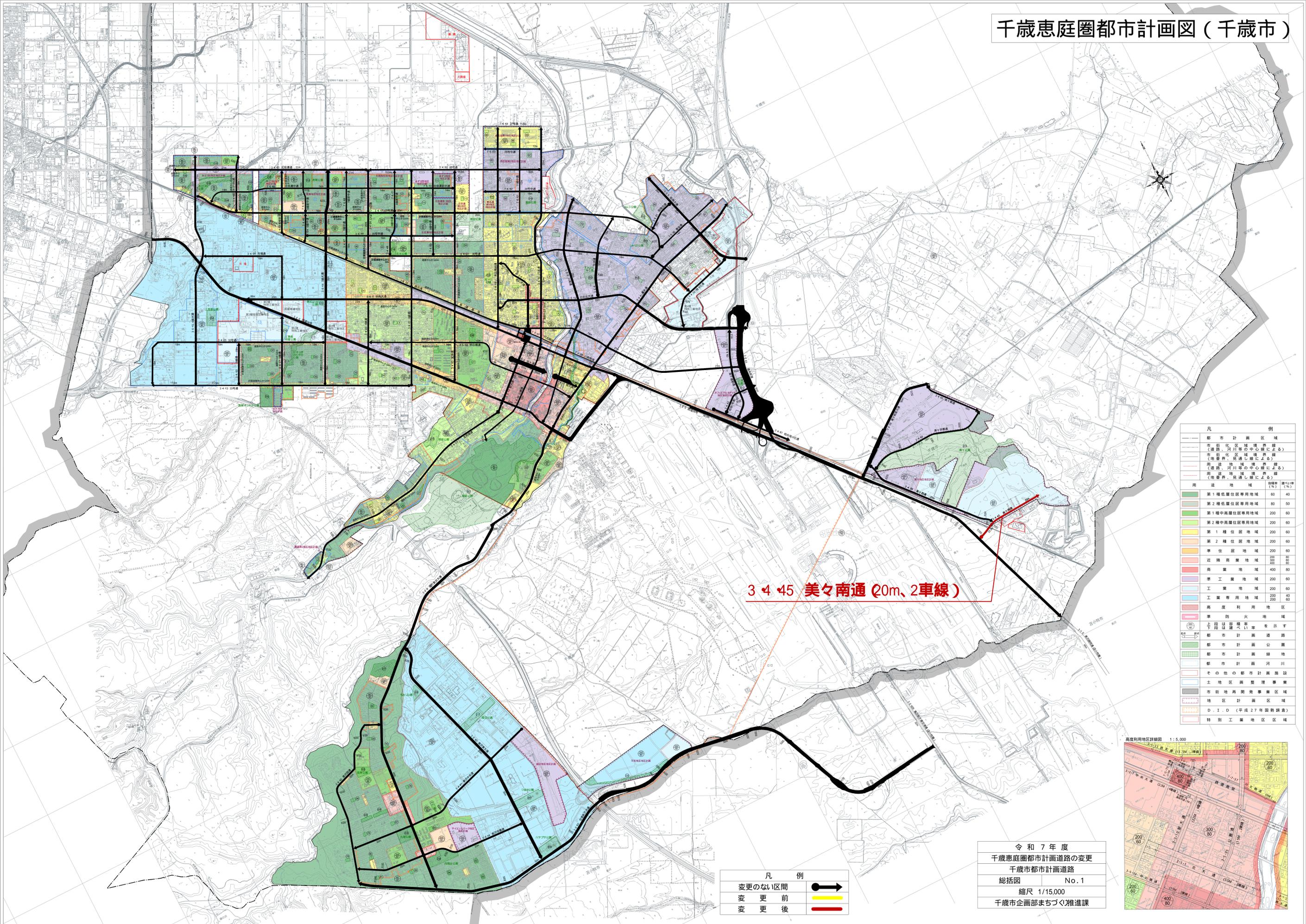
(旧)



(新)



# 千歳恵庭圏都市計画図（千歳市）

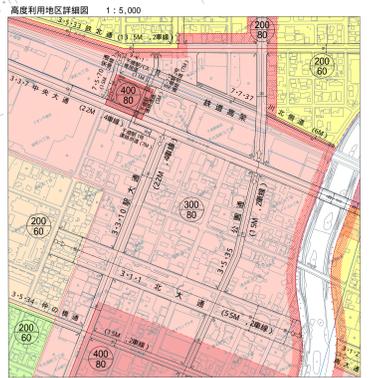


3-4-45 美々南通 (20m、2車線)

凡 例	
—	都市計画区域
—	市街化区域境界線 (道路、河川等中心線による)
—	市街化区域境界線 (地籍界、地通し線による)
—	用途地域境界線 (道路、河川等の中心線による)
—	用途地域境界線 (地籍界、地通し線による)
■	用途地域
■	第1種低層住居専用地域 容積率(%) 60 40
■	第2種低層住居専用地域 80 50
■	第1種中高層住居専用地域 200 60
■	第2種中高層住居専用地域 200 60
■	第1種住居地域 200 60
■	第2種住居地域 200 60
■	準住居地域 200 60
■	近隣商業地域 200 40
■	商業地域 400 80
■	準工業地域 200 60
■	工業地域 200 60
■	工業専用地域 200 40
■	高度利用地区 200 60
■	準防火地域
■	上段は容積率、下段は高さ(米)を示す
—	都市計画道路
■	都市計画公園
■	都市計画緑地
—	都市計画河川
■	その他の都市計画施設
■	土地区画整理事業
■	市街地再開発事業区域
■	地区計画区域
■	D・I・D (平成27年度調査)
■	特別工業地区区域

凡 例	
—	変更のない区間
—	変更前
—	変更後

令和7年度  
千歳恵庭圏都市計画道路の変更  
千歳市都市計画道路  
総括図 No.1  
縮尺 1/15,000  
千歳市企画部まちづくり推進課



千歳市役所

